

やすく、同時に日焼けするとダメージが大きい。特に女性参加者は入場待機列や大手の購入待機列に並び可能性がある場合はできるだけ長いパンツやスカートを履くようにしましょう。高性能な日焼け止めをしっかりと塗れば日焼けそのものは防げるかもしれないが、熱中症などのリスクが高まるからだ。

日よけを別途用意するのは荷物が増えるためにあまり推奨し兼ねるが、それでも腕や脚が出るファッションをするならば忘れずに持参して欲しい（ただし、**混み合った待機列では日傘の使用はやめよう**）。

シーズは熱が篋りやすく、一度濡れると乾きにくいのでコミケットの環境には全く不向きなので、男性諸氏には軽く、薄く、化繊が混紡されて万一の雨や汗で濡れても乾きやすいチノパンやスラックス系がお薦めだ。全く快適さが違うので是非お試しあれ。

●科学の力でさらに涼しく！

昨夏の酷暑を受けて、最早普通的手段では足りないとはばかりに、『着衣にスプレーすると涼しく感じます』系の商品や『さっと拭くだけで汗スッキリ』系、『肌に塗ると体温を下げてくれます』系など、科学（化学）的に涼しさを作り出す商品が沢山発売された。

これらはなかなか優れたもので、実際効果も高い。

事前に一度テストしてみて、肌との相性が悪くないようなら積極的に活用すると良いだろう。

屋外待機の最中には、首筋の日焼け防止も兼ねて、蒸散作用を利用して体温を下げる『水だけで涼しいバンダナ』系のアイテムが、サークル参加者や館内ではミニ扇風機なども有効だ。

ただし、パウダーインタイプの制汗剤は、使った瞬間は快適だが、特にポリエステル系の吸湿速乾シャツとの相性が悪く、時間が経つとかえって不快な思いをすることがあるので注意しよう。

また、制汗スプレーを人が密集している中で使うのもNG。暑くても周囲への気配りは忘れずに！



■■荷物について、考えよう■■

最初のセンテンスでも触れたが、今回のように様々な不確定要素を含んだ状況では、最悪コミケット閉会後も長い時間や距離を徒歩で移動しなくてはならないかもしれない。

とは言え、必須物品も戦利品もとなれば、どうしたって荷物は大きく重くなる。体力に自信がなければキャリアバッグという安易な選択に流れるのもある程度やむなしと言えなくもないが、会場内で荷物にまつわるトラブルは後を絶たず、ショルダーバッグやトートバッグとリュックサックのどちらが迷惑か論など、これまで長く続けられてきた議論も軽視できない。この辺りで少しその問題を考えてみよう。

■次世代型荷物運搬計画■

参加者たる者、自分の荷物は全て自分で持ち運ぶのが基本で、運びきれないほどの量の同人誌は買わないか、早々に配送してしまうかというのがあるべき姿だ。とは言え、いくら運べるからと言って、やたらと大荷物を抱えて混んだ館内を強行突破していくのも褒められたものではない。また、重いバッグを持てば肩や腕が痛いし、キャリアバッグやカートはどうしても周囲に迷惑だ。何か巧い方法は無いのだろうか？

というわけで、これからの荷物の持ち方として、『荷物の三権分立』を提案したい。

荷物の収め方を分割し、持ち方を変えることで荷重を分散して身体への負担を抑え、かつ荷物全体を多少なりともコンパクト化することで混雑内の踏破性を向上させようというプランだ。

自分の体力や運搬力、購入する同人誌の量などを考慮して、適宜調整しながら、自分と周囲にとって最も負荷の小さい荷物の持ち方を研究してほしい。

●メインバッグ

主に戦利品の同人誌を入れる大きめで丈夫なバッグ。サイズと耐荷重からもショルダーバッグ型やメッセンジャーバッグが良い。雨のことも考え、それなりの防水性を確保しよう。準備会の公式紙袋でも代用可能ではあるが、その場合は万一の雨の時用に被せられるよう大きめのビニール袋を用意し、同人誌を詰めた時に持ち手の紐部分が手に食い込まないように工夫してやると良い。

持ち手の紐が細い紙袋類は、荷重がかかると手や肩に食い込むだけでなく、袋との接合部が切れて破損しやすいので（オシャレなブランドバッグ類でも）コミケットでメインバッグを張るにはオススメできない。

やすく、同時に日焼けするとダメージが大きい。特に女性参加者は入場待機列や大手の購入待機列に並び可能性がある場合はできるだけ長いパンツやスカートを履くようしよう。高性能な日焼け止めをしっかりと塗れば日焼けそのものは防げるかもしれないが、熱中症などのリスクが高まるからだ。

日よけを別途用意するのは荷物が増えるためにあまり推奨しかなるが、それでも腕や脚が出るファッションをするならば忘れずに持参して欲しい（ただし、**混み合った待機列では日傘の使用はやめよう**）。

シーズは熱が篋りやすく、一度濡れると乾きにくいのでコミケットの環境には全く不向きなので、男性諸氏には軽く、薄く、化繊が混紡されて万一の雨や汗で濡れても乾きやすいチノパンやスラックス系がお薦めだ。全く快適さが違うので是非お試しあれ。

●科学の力でさらに涼しく！

昨夏の酷暑を受けて、最早普通的手段では足りないとはばかりに、『着衣にスプレーすると涼しく感じます』系の商品や『さっと拭くだけで汗スッキリ』系、『肌に塗ると体温を下げてくれます』系など、科学（化学）的に涼しさを作り出す商品が沢山発売された。

これらはなかなか優れたもので、実際効果も高い。

事前に一度テストしてみて、肌との相性が悪くないようなら積極的に活用すると良いだろう。

屋外待機の最中には、首筋の日焼け防止も兼ねて、蒸散作用を利用して体温を下げる『水だけで涼しいバンダナ』系のアイテムが、サークル参加者や館内ではミニ扇風機なども有効だ。

ただし、パウダーインタイプの制汗剤は、使った瞬間は快適だが、特にポリエステル系の吸湿速乾シャツとの相性が悪く、時間が経つとかえって不快な思いをすることがあるので注意しよう。

また、制汗スプレーを人が密集している中で使うのもNG。暑くても周囲への気配りは忘れずに！



■■荷物について、考えよう■■

最初のセンテンスでも触れたが、今回のように様々な不確定要素を含んだ状況では、最悪コミケット閉会后も長い時間や距離を徒歩で移動しなくてはならないかもしれない。

とは言え、必須物品も戦利品もとなれば、どうしたって荷物は大きく重くなる。体力に自信がなければキャリーバッグという安易な選択に流れるのもある程度やむなしと言えなくもないが、会場内で荷物にまつわるトラブルは後を絶たず、ショルダーバッグやトートバッグとリュックサックのどちらが迷惑か論など、これまで長く続けられてきた議論も軽視できない。この辺りで少しその問題を考えてみよう。

■次世代型荷物運搬計画■

参加者たる者、自分の荷物は全て自分で持ち運ぶのが基本で、運びきれないほどの量の同人誌は買わないか、早々に配送してしまうかというのがあるべき姿だ。とは言え、いくら運べるからと言って、やたらと大荷物を抱えて混んだ館内を強行突破していくのも褒められたものではない。また、重いバッグを持てば肩や腕が痛いし、キャリーバッグやカートはどうしても周囲に迷惑だ。何か巧い方法は無いのだろうか？

というわけで、これからの荷物の持ち方として、『荷物の三権分立』を提案したい。

荷物の収め方を分割し、持ち方を変えることで荷重を分散して身体への負担を抑え、かつ荷物全体を多少なりともコンパクト化することで混雑内の踏破性を向上させようというプランだ。

自分の体力や運搬力、購入する同人誌の量などを考慮して、適宜調整しながら、自分と周囲にとって最も負荷の小さい荷物の持ち方を研究してみたい。

●メインバッグ

主に戦利品の同人誌を入れる大きめで丈夫なバッグ。サイズと耐荷重からもショルダーバッグ型やメッセンジャーバッグが良い。雨のことも考え、それなりの防水性を確保しよう。準備会の公式紙袋でも代用可能ではあるが、その場合は万一の雨の時用に被せられるよう大きめのビニール袋を用意し、同人誌を詰めた時に持ち手の紐部分が手に食い込まないように工夫してやると良い。

持ち手の紐が細い紙袋類は、荷重がかかると手や肩に食い込むだけでなく、袋との接合部が切れて破損しやすいので（オシャレなブランドバッグ類でも）コミケットでメインバッグを張るにはオススメできない。